

許されない! 偽装交検で強制移送

＜動労水戸ストライキの闘い＞

- ・ 7/16 組合員全員ストライキ
- ・ 7/17 K544に関する作業拒否指名スト

※2011年から3度にわたってK544交番検査を阻止



※7/16勝田車両センター前で抗議行動

7月16日、動労水戸は水戸支社による被ばく車両K544の検査・運用の強行に反対してストライキを実施（裏面に発言掲載）。勝田車両センター、水戸支社への抗議行動も行われ、地元の労組、市民の他、福島と東京からも100名を超える人々が集まり、動労水戸の闘いを支援しました。

あきらめない 負けない 声上げよう!

ここが許せない

その1

偽装交検で強制移送

7/16、動労水戸と現場の怒りにより被ばく労働（K544交検）を水戸支社は現場に強制できない状況になりました。追い詰められた会社は、メインモーターのカーボンブラシ各4ヶ所のうち1ヶ所だけ開けて見るなど、およそ交検とは言えない内容を「交検を実施した」と強弁し、強制移送しています。

その2

過酷な作業は青年と下請け

K544検査で最も過酷な作業＝被ばくリスクの高い作業を担うのは、青年労働者であり、車両清掃を行う下請け労働者です。最も低賃金労働者が最も危険な作業を強いられています。「線量が低い」「安全だ」＝「（健康被害が出ても）会社は関係ない」「責任をとらない」です。こんな態度、許されていいのでしょうか！

その3

内部被ばく問題にせず

問題なのは空間線量の値ではありません。水戸支社も「K544に放射能があること」は認めています。会社側が絶対に問題にしないのは、“内部被ばく”の危険性です。車両検査では、多量のホコリを吸いこみます。ストロニウムを吸い込めば骨に付着し、半減期は30年！命と健康、未来の問題です。



労働学校

3.11でつかんだ国家とは何か？

レーニン『国家と革命』を学ぶ

@福島市市民会館

とき：7/27（土）13時～

講師：斉藤貴広さん

（東日本大震災現地救援対策本部・事務局）

受講料：1000円

※終了後は福島市の花火大会に参加♪

本日

ストライキ

<情報>

ブラジルW杯に反対20万デモ



6/17、W杯開催による国費無駄使いに反対してサッカー王国ブラジルで20万デモ

渡辺馨 福島県労組交流センター
代表

被ばくした車両をここに運んだこと自体が違法なんです。原発周辺の農民は、すべてを置いて避難した。そういう人が16万人以上いるんです。1千万、2千万円する農機具も、置いてあるんです。それを運んじゃだめなんです。放射性物質で汚染されているから。JRだけが、車両を運んでいいんですか！？

そもそも被ばくしているから運んじゃだめなんです。ましてや使うなんてあってはならない。被ばくした車両を、労働者が検査し、整備し、走らせるなんてあってはならない。



辻川慎一 動労水戸副委員長

被ばく列車K544の交検を阻止する、そのために渾身の闘いをやった。郡山では「この車両は勝田で通常の交検をやった」と言い張って全般検査を強制しようとしている。今日やったのは交検ではない。助役も水戸支社も交検をやったと言おうとしている。とんでもないごまかしだ。真実をごまかし、一つひとつ大事なことを全部ごまかし、保身しようとしている。これが日本の政治家、政府、現場の企業の責任者、ぜんぶのあり方じゃないですか。青年労働者のみなさん。嫌なことは嫌だ、おかしいことはおかしいと言っているんです。



自らの被ばくを拒否する闘いの中に

誰ひとりとして被ばくさせないという熱い思いが詰まっている
全ての人びとに対する呼びかけが詰まっている

コラム <原発再稼働をJRが全力支援>



富田哲郎 JR東社長

「行け東北。行け再稼働！」

by JR東日本

安倍政権の原発政策を支えているのが、JRです。国の安全宣言と合わせて、利用客がなくても常磐線久ノ浜-広野間を運転再開（2011年10月）。原発20k地点に7ヶ月間放置されていた車両をわざわざ運用させるのも、全ては国が「安全」とする放射能基準にお墨付きを与え、原発政策を何としても押し進めるためです。JR東海会長葛西が「原発再稼働必須」（5/26読売新聞）と寄稿するほどJRは原発政策を押し進めています。だからこそ、JRの中から「被ばく労働反対！」「原発いらない」の声と行動を巻き起こしましょう



意気軒昂とストに入り、職場から門前集会に合流する労働者



差し入れの団結卵を受け取って満面の笑み♪